

# SAFETY

統合安全コンセプト。

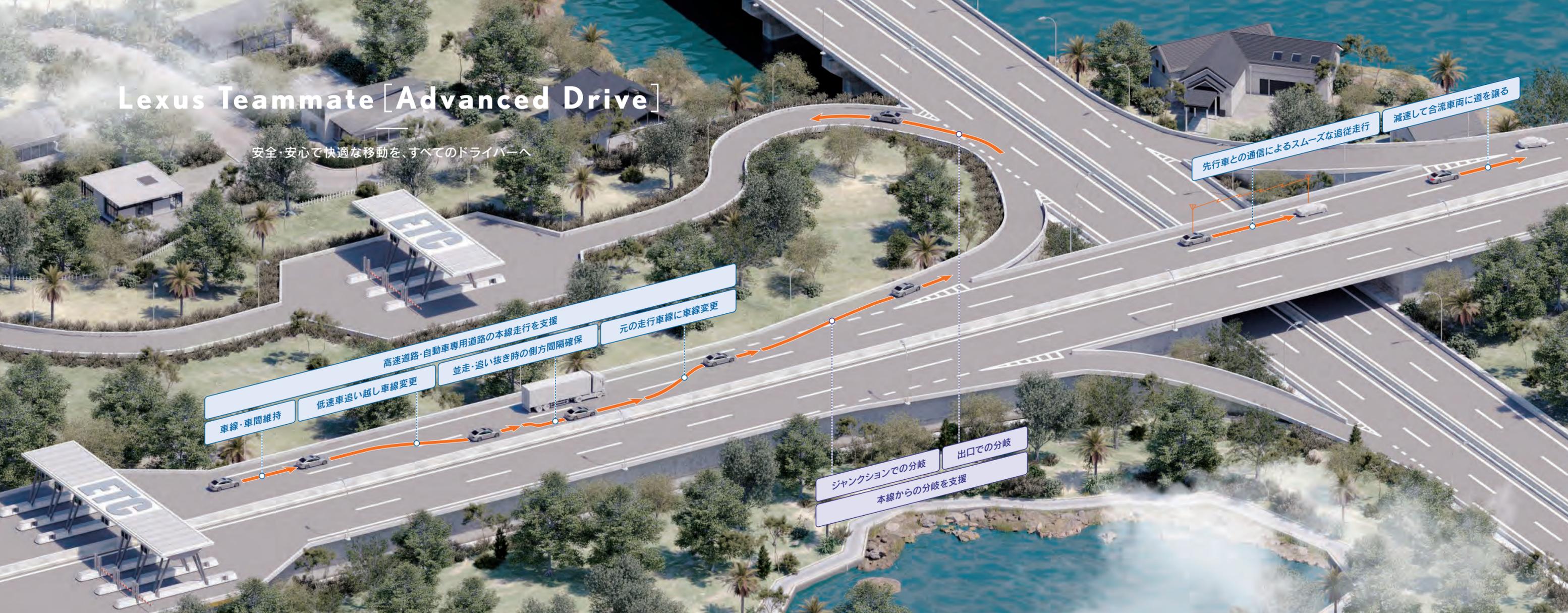
安全の第一歩となるメンテナンスから、事故の回避・事故被害の軽減に寄与する予防安全、事故が起きた際の被害を軽減する衝突安全、そして事故後の迅速で的確な救護支援まで。「統合安全コンセプト」は、レクサスがめざす安全に対する考え方であり、車両に搭載されるさまざまな安全システムを独立して機能させるのではなく、連携を図り、高度な安全性を追求していくというものです。

## 理想の安全へ、Lexus Safety System +とLexus Teammate

レクサスは、交通事故による死傷者を減らすために、4大事故形態（「車両への追突」「歩行者」「走路逸脱」「交差点での出会い頭の衝突」）に取り組み、先進技術の開発と普及技術の展開の2本柱で開発を進めています。LSでは、「統合安全コンセプト」に基づいたLexus Safety System +を全車に標準装備。さらに、運転支援を進化させた「Lexus Teammate」に高速道路や自動車専用道路で、目的地に向かって運転支援を行うAdvanced Driveと渋滞時に車線維持や加減速、停車・発進を支援するAdvanced Drive（渋滞時支援）、そして、スイッチ操作によりスムーズな駐車支援が可能なAdvanced Parkを設定。LSは、LSに乗るすべての人に、より安全・安心の移動をお届けします。

# Lexus Teammate [Advanced Drive]

安全・安心で快適な移動を、すべてのドライバーへ



高速道路・自動車専用道路の本線から分岐まで運転を支援する

## Advanced Drive

Advanced Driveは高速道路や自動車専用道路で本線上の運転を支援するシステムです。あらかじめナビゲーションで目的地を設定\*すると、ドライバー監視のもと、実際の交通状況に応じてシステムが適切に認知、判断、操作を支援し、車線・車間維持、分岐、車線変更、追い越しなどを行いながら、目的地に向かってインターチェンジの分岐まで運転を支援します。運転支援時の理想的な車両挙動を追求する過程で走りの基本性能を磨き上げ、つねに安全を最優先に判断することでドライバーに信頼される運転操作をめざしました。ドライバーはアクセル、ブレーキそしてステアリング操作からも解放され、長時間の運転における疲労が軽減されるとともに、より周辺に注意を払った安全な運転の支援を受けることができます。

カーブや渋滞、追い越しなど走行中のさまざまなシーンで、あたかも人が運転しているかのような滑らかな走りを実現したAdvanced Driveは、乗員の気持ちに寄り添った走行制御を提供します。

EXECUTIVE Advanced Drive version L Advanced Drive

\* Advanced Driveはナビゲーション[コネクティッドナビ(車載ナビ有)(72ページ)]の目的地を設定していない時でも使用できますが、目的地未設定の場合には、本線上で目的地に向かうための車線変更や分岐ができないなど機能に制限がかかります。また、Apple CarPlay / Android Auto™の各地図アプリやナビゲーションアプリとは連携しません。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※Advanced Driveは自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作できるように備えてください。



機能説明  
情報はこちら



使用可能エリア  
情報はこちら

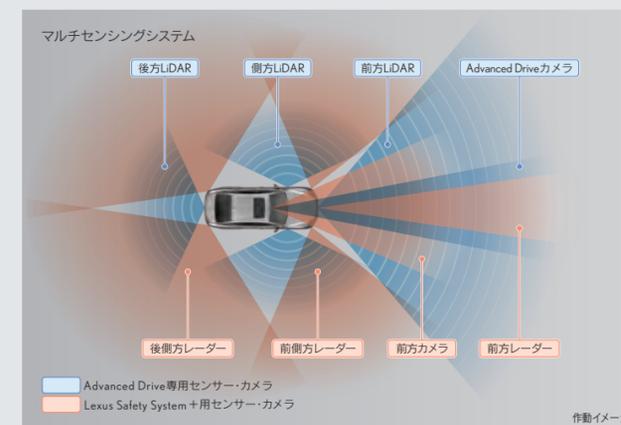
Advanced Driveを支える

## マルチセンシングシステム&AIテクノロジー

レーダー、カメラ、LiDAR(ライダー/赤外線レーザーセンサー)など特長の異なるセンサーで構成した最先端のマルチセンシングシステムにより、車両周囲を高い信頼性と精度でカバー。さらに高精度地図情報を組み合わせ、センサーが届かない場所の先読みも行うことで、ドライバーの周辺認知を支援するとともに、道路や周囲の交通環境を高い精度で認識します。そして、走行中に得られる膨大なデータを高速に処理し、ディープラーニングを用いたAIテクノロジーで運転中に遭遇しうるさまざまな状況を予測・対処しながら、複雑な道路状況下においてもすぐれた安全性と走行安定性を実現します。

EXECUTIVE Advanced Drive version L Advanced Drive

\* LiDARによって、他機器の赤外線センサーの動作に影響を与える場合があります(一部の機械式立体駐車場に駐車できない等)。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



標準装備

※Advanced Driveの留意事項につきましては、51ページでご確認ください。※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

# Lexus Teammate [Advanced Drive]

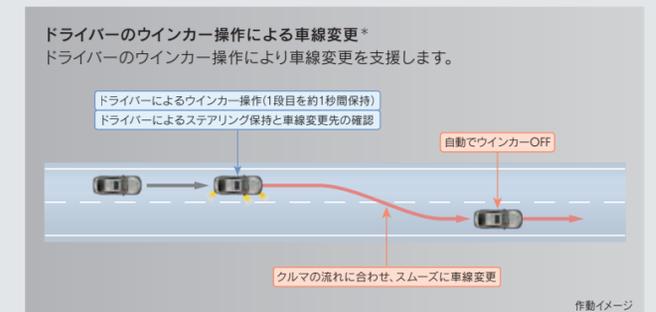
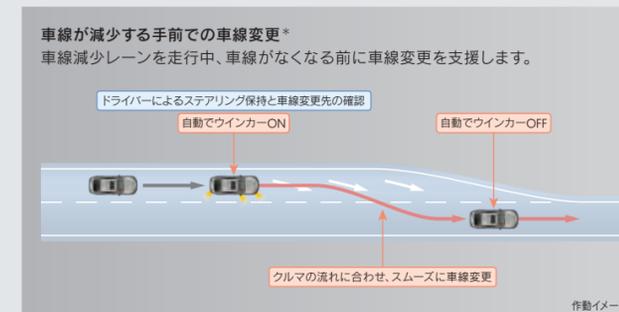
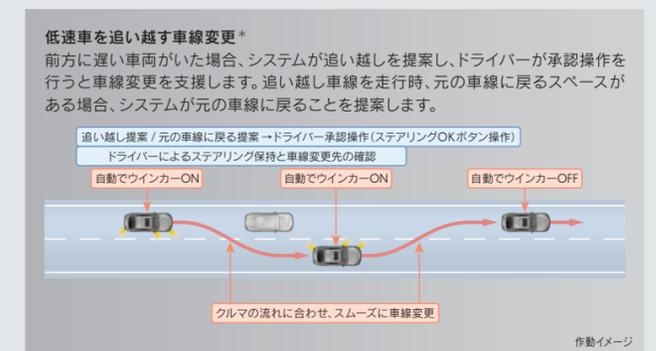
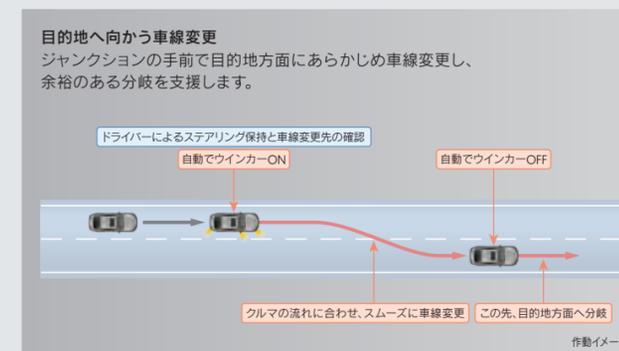
目的地へ向けたスムーズな運転支援

ナビゲーションで設定した目的地に向かって

## 車線変更と分岐を支援

ナビゲーションで目的地を設定すると、目的地へ向かうための本線上での車線変更や、本線からの分岐を支援します。車線変更では、ドライバーがステアリングを保持し、車線変更先を確認した

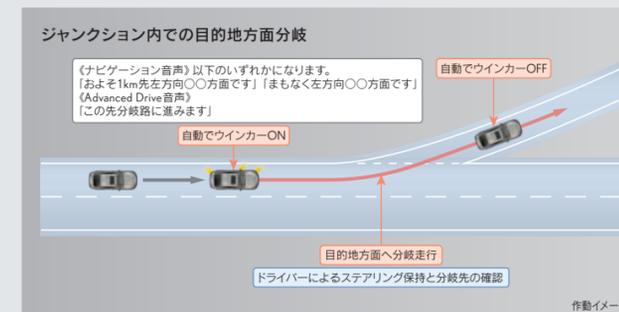
後、システムが周囲の状況を判断し、クルマの流れに合わせてスムーズに車線変更を支援します。また、ドライバー自身のウインカー操作により車線変更を支援することも可能です。 EXECUTIVE Advanced Drive version L Advanced Drive



\* 低速車を追い越す車線変更、車線が減少する手前での車線変更、およびドライバーのウインカー操作による車線変更は、目的地設定をしていない場合でも利用できます。

本線からの分岐では、分岐レーンが始まる手前でウインカーを自動点滅し、車線変更を支援します。例えば、ジャンクション内を目的地方面へ分岐したり、高速道路や自動車専用道路を退出する場合には本線から出口レーンへの

車線変更を支援します。また、サービスエリア・パーキングエリアを目的地に設定した場合も、サービスエリア・パーキングエリアへ入るための分岐を支援します。 EXECUTIVE Advanced Drive version L Advanced Drive



# Lexus Teammate [Advanced Drive]

安心感をさらに高める、さまざまな運転支援

走行状況に応じた

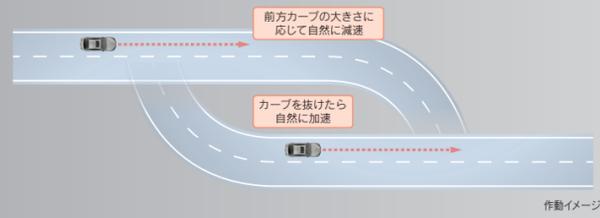
## 本線走行中の運転支援

本線走行中は、ドライバーが設定した車間距離を維持しながら車線内走行を支援します。渋滞などで停止・発進を繰り返すようなシーンでは先行車に合わせて自車の停止・発進を支援することで、ドライバーの運転負担を軽減します。また、自車だけでなく他車のドライバーにも配慮した独自の支援により、安心を感じられるスムーズな走行を支援します。

EXECUTIVE Advanced Drive \*version L Advanced Drive\*

### カーブでの速度抑制

カーブ手前で車速が高ければ減速し、旋回時の安心感を確保します。



作動イメージ

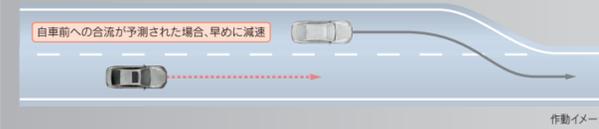
### 周辺車両の動きへの配慮(側方間隔を確保する)

隣接車線を走行している車両との並走・追い抜き時に、左右の間隔を十分に確保した状態で車線維持を行います。対面通行路がある場合は、対面通行路に近づきすぎないよう側方間隔を自動調整します。



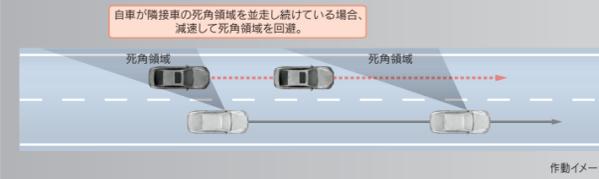
作動イメージ

周辺車両の動きへの配慮(合流してくる車両に道を譲る)  
合流地点では、本線に合流してくる車両に対して早めに減速して車間距離を確保。相手車両のスムーズな合流を支援します。



作動イメージ

周辺車両の動きへの配慮(他車の死角領域を走行し続けるように減速)  
隣接レーンを走行する車両の死角領域に、自車が走行し続けることを回避するように減速制御。これにより、他車の死角領域に走行し続けることを回避し、他車近傍に自車が走行し続けることで感じる圧迫感の軽減を図ります。



作動イメージ

### ITS Connect連携

前方の車両が通信可能な車両の場合、先行車の加減速情報を通信で取得することにより、スムーズな追従走行を行います。



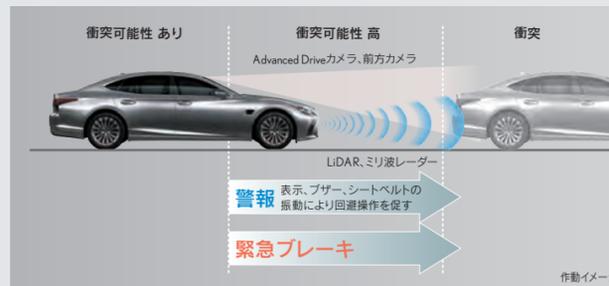
作動イメージ

渋滞末尾への衝突回避に寄与する

## 緊急ブレーキ

進路上の車両をAdvanced Driveカメラ、前方カメラ、LiDAR、ミリ波レーダーで検出。衝突の可能性があると判断した場合、12.3インチメーターディスプレイや大型カラーヘッドアップディスプレイの表示、ブザー、シートベルトの振動でドライバーに回避操作を促すとともに、ブレーキを作動させ、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。

EXECUTIVE Advanced Drive \*version L Advanced Drive\*



作動イメージ

ドライバーの状態をクルマが見守る

## ドライバーモニターカメラ

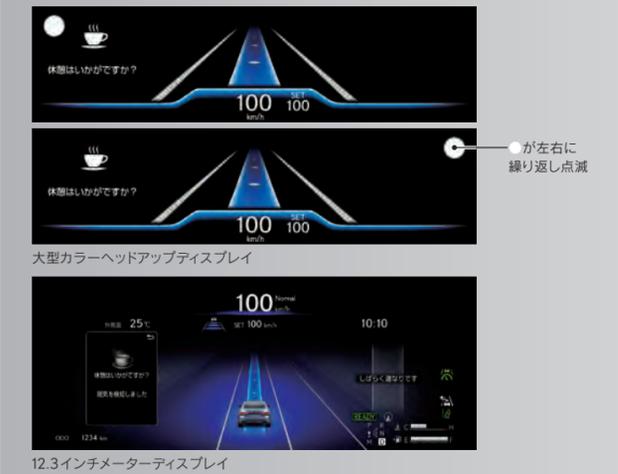
ステアリングコラムに設置したドライバーモニターカメラにより、ドライバーの顔の向きや眼の閉眼状態、視線などを検知します。例えばドライバーの眠気の兆候を検知した場合、12.3インチメーターディスプレイと大型カラーヘッドアップディスプレイの表示に加えて、シートベルトを振動させてドライバーに通知します。眠気が続く場合には、「いたわり案内」\*によりエージェントからサービスエリア・パーキングエリアへの休憩提案や、フロントリフレッシュシートの作動提案を行います。

\*「いたわり案内」はG-Linkの「エージェント+」のサービスです。



ドライバーモニターカメラ

眠気兆候を検知した時の表示



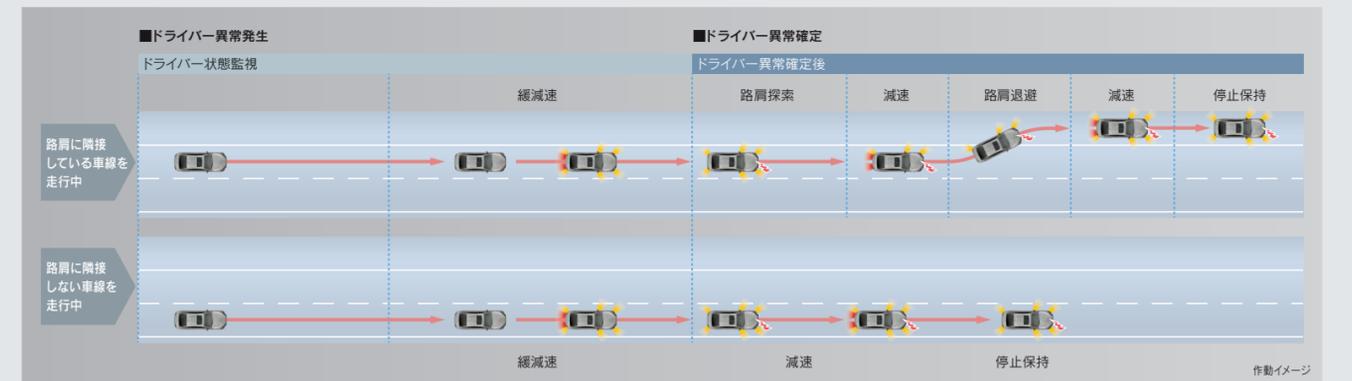
12.3インチメーターディスプレイ

路肩退避や車線内停車と、救命要請を行う

## ドライバー異常時対応システム

ドライバーモニターカメラがドライバーの姿勢が崩れるなど体調の急変を検知し、運転継続が困難になったとシステムが判断した場合、自車を減速・停止させるシステムです。Advanced Driveが発する警告にตอบสนองせず無操作状態が継続した場合に、ドライバーに異常があるとシステムが判断すると、

ハザードランプの点滅など周囲に警告を行いながら減速し、車線内または路肩で停車します。自損・加害事故の回避や事故被害低減を支援するほか、停車後にドア解錠やヘルプネット®\*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。



\*ヘルプネット®はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。詳しくは81-82ページをご覧ください。  
※路肩に隣接している車線を走行していても、退避可能な路肩を検索できなかった場合や、路肩に障害物があるとシステムが判断した場合など、状況によっては路肩へ退避せず、自車線内で停車する場合があります。

# Lexus Teammate [Advanced Drive]

## 先進のインターフェース

直感的なカラーグラフィックスで表示する

### 12.3インチメーターディスプレイと大型カラーヘッドアップディスプレイ

Advanced Drive走行中、さまざまな情報を人の感覚に寄り添ったカラーグラフィックスで表示する先進のインターフェース。自車の走行状況や周辺車両の存在、合流レーンで自車前に合流してくる車両の存在などをアニメーションで表示します。また、ディスプレイ全体の配色を、Advanced

Driveの走行状態に応じてグレー基調、ブルー基調、オレンジ基調に変えることにより、直感的な分かりやすさでドライバーの安全運転を支援します。

EXECUTIVE Advanced Drive<sup>1</sup>    Version L Advanced Drive<sup>2</sup>

|                   |   |  |
|-------------------|---|--|
| <b>ディスプレイ表示例</b>  |   |  |
| 大型カラーヘッドアップディスプレイ |   |  |
| 12.3インチメーターディスプレイ |   | <b>①周辺環境・自車挙動表示</b><br>周辺車両および路面の区画線形状に対する自車挙動を表示              |
|                   |   | <b>②メッセージ領域</b><br>ドライバーへの要求やその他一時的なお知らせを表示                    |
|                   |   | <b>③ドライブプラン</b><br>直近数km分に関して車線変更や分岐などAdvanced Driveの行動計画を表示   |
|                   |   | <b>④ステータス領域</b><br>自車速、ステアリング保持要求、ドライバーが設定した車速や車間距離を表示         |
| 大型カラーヘッドアップディスプレイ |   |  |
| 12.3インチメーターディスプレイ |   |  |
|                   | グレー基調（制御走行中：ステアリング保持が必要な状態）<br>※画面表示は低速車追い越し時の車線変更前 | ブルー基調（制御走行中：条件が整いステアリングから手を放して走行できる状態）<br>※画面表示は先行車追従走行時       |
|                   |   | オレンジ基調（制御走行の解除前：ドライバーによる運転操作が必要な状態）<br>※画面表示はAdvanced Drive解除前 |

※Advanced Driveは自動で運転するシステムではありません。システムを過信せず、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作できるように備えてください。

## Advanced Driveの留意事項および使用可能エリアについて

### ⚠️ 安全にお使いいただくために

- Advanced Driveは自動で運転するシステムではありません。本システムは道路の形状・状態・交通状況や運転者の状態に応じて、運転者への情報提供や運転支援を行います。つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。
- Advanced Driveは周囲の状況・道路の状態・運転者の状態によっては作動しない、または作動を中断することがあります。また、つねに同じ性能を発揮できるものではありません。システムを過信せず安全運転に努めてください。
- Advanced Driveの認識性能・制御性能には限界があるため、システム作動中であっても運転者自身の操作で安全を確保する必要があります。運転者は自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作できるように備えてください。
- Advanced Driveが正常に作動していたとしても、運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり安全を委ねる運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- Advanced Driveは地図情報をもとに制御するため、工事などで実際の道路状況と地図情報が異なる場合、正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。
- Advanced Drive作動中でも運転者での操作が必要となる状況があるため、運転者自身で視界を確保する必要があります。つねに視界を確保できるよう、次の機能をご使用ください（ヘッドランプ/マルチウェザーライト/ワイパー/フロントデフロスター/リヤウインドウデフロガー/ドアミラーヒーター）。
- Advanced Driveは状況に応じてディスプレイ表示でステアリングの保持を促すことがあります。その際はただちに運転者自身でアクセル・ブレーキ・ステアリング操作を行い、安全を確保してください。
- 公道を走行するときは、法定速度や制限速度を遵守してください。
- 詳しくはレクサス販売店におたずねください。

### ⚠️ システムが正常に作動しないおそれがある状況・運転操作を促す状況

- ※例えば次のような条件下ではAdvanced Driveが適切に制御されないため、使用しないでください。
  - 急カーブのある道
  - 交通量の多い道
  - 風が強い時
  - 悪天候時（雨・霧・雪・砂嵐など）など
- ※例えば次のような条件下ではAdvanced Driveが正常に作動しないおそれがあります。必要に応じて運転者自身で操作してください。
  - 自車の前方に割り込みがあったとき
  - 渋滞中に合流地点で割り込まれたとき
  - 先行車が急ブレーキをかけたとき
  - 工事や事故で車線がなくなるとき
  - 自車線の端寄りに停車中の車がいるとき など
- ※例えば次のような条件下ではドライバーモニターが正常に作動しない場合があります。
  - 朝日や夕日などの強い光がカメラにあたっているとき
  - 眼鏡・サングラスのフレームや髪などで眼が隠れているとき など
- ※例えば次のような条件下では緊急ブレーキが正常に作動しない場合があります。
  - 作動対象が急な動きをしたとき（急ハンドル・急加速・急減速など）
  - 作動対象に急接近したとき
  - 前方車両が二輪車のとき
  - 周囲の明るさが急激に変化する場所を走行するとき（トンネルの出入り口など） など
- ※例えば次のような条件下では運転者による運転操作が必要になるとシステムが判断し、事前に音声案内/プザー・ディスプレイ表示でお知らせすることがあります。その後、再度プザー・ディスプレイ表示・シートベルトの振動で運転操作を促します。制御走行が解除されるため、ただちに運転者自身でアクセル・ブレーキ・ステアリング操作を行ってください。
  - 使用可能エリアの終点に近づいたとき
  - 分岐点に近づいたとき
  - 出口レーンに近づいたとき など

### ご使用にあたって

Advanced Driveのすべての機能を継続的に使用するには、各種手続きと、つねにソフトウェアを最新の状態に更新することが必要です。

#### ■ ご使用にあたって必要な手続き

##### ● G-Link（利用契約の有効期間内であること）

- ※お客さまの安全に関する問題や法規上の問題が発生したときは、一時的にシステムを作動不可にすることがあります。あらかじめご了承ください。
- ※G-Link利用契約が未契約・未更新の場合、Advanced Driveは使用できませんが一部の機能に制限がかかります。
- ※Advanced Driveの一部の機能は、G-Linkの通信を用いて提供される地図更新サービスと、車載機器内で保持している地図データ（ナビゲーション地図および高精度地図）をもとに作動します。Advanced Driveのすべての機能を利用するためには、G-Link契約に加入している必要があるほか、高精度地図データの全更新が必要です。G-Link基本利用料は、新車ご購入の場合は初度登録日から3年間無料、CPOご購入の場合はご購入後2年間無料です。高精度地図データの全更新は、所定の期間毎（新車ご購入の場合は初度登録から3年後、CPOご購入の場合はご購入から2年後、それ以降は2年毎）に、レクサス販売店へご入庫のうえ、最新版高精度地図データ（有償）をご購入いただく必要があります。無料期間終了後のG-Link基本利用料、最新版高精度地図データの料金や利用手続きについては、レクサス販売店にお問い合わせください。G-Linkおよび地図更新サービスは予告なくサービスを終了することがあります。サービスの終了にともない、一部の機能がご利用できなくなります。

#### ■ ソフトウェアの更新について

Advanced Driveは、G-Linkを使ってソフトウェアを更新することができます。

- ※ソフトウェアアップデートがある場合、センターディスプレイに通知画面が表示されます。画面の指示に従ってすみやかに更新してください。
- ※お客さまの安全や車両の保安基準に関する重大なソフトウェアアップデートが必要になった場合には、お客さまの更新の許諾の有無にかかわらず、自動でソフトウェアアップデートを行うことがあります。また、この場合にお客さまが許諾していなかった他の機能も含めて最新のバージョンに更新される場合があります。
- ※Advanced Driveはソフトウェアを更新することで各機能の取り扱い方法が変わることがあります。正しい取り扱い方法を知らずにシステムを使用すると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。必ずシステムのソフトウェアバージョンにあった取扱説明書をお読みいただいた上でご使用ください。取扱説明書はlexus.jp内の取扱説明書ページで確認することができます。

### 使用可能エリア

Advanced Driveは高精度地図データに対応した高速道路・自動車専用道路で使用可能です。

- ※地図情報にない道路、地図情報と一致していない道路（車線数の変更・道路の延伸など）など、使用可能エリアであっても使用できない場所があります（高精度地図の整備には一定の時間がかかるため、工事などによる道路状況の変化が反映されず作動しない場合があります）。
- ※高精度地図データの更新直後は、切り替え処理のため処理完了まで一定の時間が必要です。
- ※コネクティッドナビ（車載ナビ有）による目的地設定直後は、地図データ取得処理に一定の時間が必要です。
- ※周囲の状況および天候状況等によっては使用できない、もしくは性能が低下する場合があります。

### ⚠️ Advanced Driveを安全にお使いいただく上での留意事項説明

ご契約に際し、Advanced Drive、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

- |                   |  |
|-------------------|--|
| ご使用になる際のお客さまへのお願い | <ul style="list-style-type: none"><li>■ 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。</li><li>■ 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。</li><li>■ 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。</li><li>■ ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。</li></ul> |
|-------------------|--|

# Lexus Teammate [Advanced Drive (渋滞時支援)]

高速道路・自動車専用道路での渋滞時に運転負荷を軽減

加減速や停車・発進などの渋滞時支援

**Advanced Drive (渋滞時支援)**

一部の高速道路・自動車専用道路をレーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)、およびレーントレーシングアシスト[LTA]を作動させての運転中、渋滞(0-40km/h)になるとドライバーが周囲の監視をしているなど一定の条件を満たしていると、システムが認知・判断・操作を支援します。

支援開始



Lexus Teammate Advanced Drive (渋滞時支援)は、渋滞を検知するとマルチインフォメーションディスプレイ表示によるお知らせの後、自動的に支援を開始します。渋滞を検知し、ドライバーが周囲を監視している状態で自車速度が約40km/h以下になるとマルチインフォメーションディスプレイに“Advanced Drive”と表示し、車線維持・加減速・停車・発進を支援します。

図は、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の設定速度が60km/hかつレーントレーシングアシスト[LTA]を使用して走行中に渋滞に入った場合の一例です。

支援終了



渋滞が解消し、Lexus Teammate Advanced Drive (渋滞時支援)終了時は、ドライバーにハンドル操作を促すために、マルチインフォメーションディスプレイの表示とブザーで通知し、支援を終了します。

“EXECUTIVE” “version L” “F SPORT” “i package”

\*ハンドル操作要求の表示は一例です。運転状況により、表示内容が変わります。

## ■ Advanced Drive/Advanced Drive (渋滞時支援)の主な機能相違点

|  | 作動速度(自車)      | 主な機能   |
|--|---------------|--|
| Advanced Drive<br>“EXECUTIVE Advanced Drive”<br>“version L Advanced Drive” | 0~125km/h     | ・加減速<br>・停車<br>・発進<br>・車線/車間維持<br>・追い越し<br>・車線変更<br>・本線からの分岐<br>・ITS Connect連携 |
| Advanced Drive (渋滞時支援)<br>“EXECUTIVE” “version L”<br>“F SPORT” “i package” | 0~40km/h(渋滞時) | ・加減速<br>・停車<br>・発進<br>・車線/車間維持   |

## Advanced Drive (渋滞時支援)の留意事項について

### ⚠️安全にお使いいただくために

安全運転を行う責任は運転者にあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。

■Advanced Drive (渋滞時支援)は自動で運転するシステムではありません。本システムは道路の形状・状態・交通状況や運転者の状態に応じて、運転者への情報提供や運転支援を行います。つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。

■Advanced Drive (渋滞時支援)は周囲の状況・道路の状態・運転者の状態によっては作動しない、または作動を中断することがあります。また、つねに同じ性能を発揮できるものではありません。システムを過信せず安全運転に努めてください。

■Advanced Drive (渋滞時支援)の認識性能・制御性能には限界があるため、システム作動中であっても運転者自身の操作で安全を確保する必要があります。運転者は自らの責任で周囲の状況を把握し、いつでも運転操作できるよう備えてください。

■Advanced Drive (渋滞時支援)が正常に作動していたとしても、運転者が認識している周囲の状況とシステムが検知している状況が異なる場合があります。従って注意義務・危険性の判断・安全の確保は運転者が行う必要があります。システムに頼ったり安全を委ねる運転をしたりすると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。

■Advanced Drive (渋滞時支援)作動中でも運転者での操作が必要となる状況があるため、運転者自身で視界を確保する必要があります。つねに視界を確保できるよう、次の機能をご使用ください(ヘッドランプ/マルチウエザーライト/ワイパー/フロントデフロスター・リヤウインドウデフォグガー・ドアミラーヒーター)。

■Advanced Drive (渋滞時支援)は状況に応じてディスプレイ表示でステアリングの保持を促すことがあります。その際はただちに運転者自身でアクセル・ブレーキ・ステアリング操作を行い、安全を確保してください。

■例えば次のようなシーンでは自動車専用道路上でもAdvanced Drive (渋滞時支援)は作動しません(中央分離帯がポール等で区切られている暫定供用区間、サービスエリア、料金所、路線新設された道路等)。

■Advanced Drive (渋滞時支援)は地図情報をもとに制御するため、工事などで実際の道路状況と地図情報が異なる場合、正常に作動しないおそれがあります。ディスプレイオーディオ(コネクテッドナビ対応)Plusは、G-Link・コネクテッドナビ(車載ナビ有)の契約切れであっても地図情報を利用できるため、Advanced Drive (渋滞時支援)の継続使用が可能です。ただし地図情報が更新されなくなるため、実際の道路状況と異なることでシステムが正常に作動しないおそれがあります。システムを過信せず、つねに周囲の状況を把握した上で、運転者の責任においてシステムを使用してください。

■公道を走行する時は、法定速度や制限速度を遵守してください。

### ⚠️Advanced Drive (渋滞時支援)が正常に作動しないおそれがある状況

次のような状況では適切に作動しないおそれがあります。運転者自身でステアリング・アクセル・ブレーキなどの操作をして安全を確保してください。

■カーブや車線幅が狭い道路などを走行しているとき ■先行車の後部分が小さすぎる時(荷物を積んでいないトレーラーなど) ■自車の車両姿勢が上向きになるとき(重い荷物を積んだときなど) ■先行車の車高が極端に高いとき ■水しぶきがかかったとき ■自車の周囲に水・雪・土ほこりなどの巻き上げがあるとき ■強い光(太陽光やヘッドランプ光など)がカメラに直接あたっているとき ■外気温が極めて高温または低温のとき ■テレビ塔・放送局・発電所・空港・レーダー搭載車両など、強い電波やノイズが発生する場所の近くを走行しているとき ■工事区間 ■落下物などがあるとき ■タイヤの接地面の状態が、左右で著しく異なる場所を走行しているとき ■周囲の明るさが急激に変化する場所を走行しているとき(トンネルの出入り口など) ■先行車の反射板(リフレクター)が隠れている、または汚れているとき ■先行車が二輪車のとき ■先行車と自車のあいだに急な割り込みがあったとき ■夜間やトンネル内などでヘッドランプを点灯していないとき ■ワイパーブレードがカメラの視界をさえぎっているとき ■アマチュア無線を使用しているとき ■またぎ路を走行するとき など

### ご使用にあたって

Advanced Drive (渋滞時支援)のすべての機能を継続的に使用するには、各種手続きが必要です。

■ご使用にあたって必要な手続き

●G-Link(利用契約の有効期間内であること)

※お客さまの安全に関わる問題や法規上の問題が発生した時は、一時的にシステムを作動不可にすることがあります。あらかじめご了承ください。

■ソフトウェアの更新について

Advanced Drive (渋滞時支援)は、システムの性能向上・機能の変更/追加のため、G-Linkを使ってソフトウェアを更新します。

⚠️ ※Advanced Drive (渋滞時支援)はソフトウェアを更新することで各機能の取り扱い方法が変わることがあります。正しい取り扱い方法を知らずにシステムを使用すると、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。必ずシステムのソフトウェアバージョンにあった取扱説明書をお読みいただいた上でご使用ください。

### ⚠️Advanced Drive (渋滞時支援)を安全にお使いいただく上での留意事項説明

ご契約に際し、Advanced Drive (渋滞時支援)、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

ご使用になる際のお客さまへのお願い

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 衝突等の事故発生時にドライバーモニターカメラによる映像を記録することがあります。あらかじめご了承ください。
- ご使用の前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。

# Lexus Teammate [Advanced Park]

スムーズな駐車をクルマが支援



シンプルなスイッチ操作でステアリング・シフト・アクセル・ブレーキ操作を制御する  
**高度運転支援 Advanced Park**

パノラミックビューモニターのカメラやクリアランスソナーの超音波センサー、夜間の認識性能を確保する赤外線ライトなどで車両の全周囲を高い精度で検知し、ステアリング・シフト・アクセル・ブレーキの各操作を制御。駐車したいスペースの横に停車後、メインスイッチを押して車両周辺と駐車スペース\*を確認し、ディスプレイ画面上の開始スイッチを押すとスムーズに駐車を開始します。作動中の車両周辺の状況をディスプレイに表示するほか、動く対象物や細いポール等を含む障害物を検知した場合には警報を鳴らし、ブレーキ制御を行うことで接触回避を支援します。

\*駐車スペースが複数ある場合は変更できます。  
※Advanced Parkはあくまで運転を支援する機能です。Advanced Parkを過信せず、必ずドライバーが責任を持って周囲の状況を把握し、安全運転を心がけてください。  
※Advanced Parkは駐車環境や周辺状況によっては使用できない場合があります。  
※字光式ナンバープレートは装着できません。

さまざまな駐車シーンに対応する

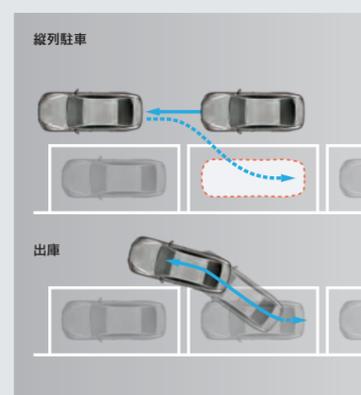
**Advanced Park**

並列バック駐車、縦列駐車・出庫、区画線のない駐車（メモリ機能）に加えて、並列シーンでの前向き駐車、バック出庫、前向き出庫が可能です。

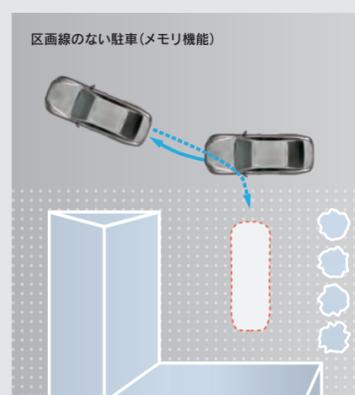
俯瞰映像に車両周辺の死角や目標駐車位置などをつねに表示し、スムーズな駐車を実現します。



作動イメージ



作動イメージ



作動イメージ

車外から遠隔操作で駐車・出庫ができる

**Advanced Parkのリモート機能**

スマートフォンに専用アプリ「Remote Park」をインストールすることで、車外から遠隔操作\*が行えるリモート機能を設定しました。並列・縦列駐車、出庫、およびトランクの荷物を取り出すシーンなどにおける前後移動の操作が可能です。不慣れな場所、狭い場所での駐車を支援し、乗り降りのわずらわしさを低減します。

LS500h "EXECUTIVE" LS500h "version L" LS500h "F SPORT" LS500h "I package"

\*スマートフォン操作は、電子キーを携帯したドライバーが行う必要があります。また、デジタルキーをご購入の方についても、電子キーを携帯する必要があります。  
※機種やOSのバージョンによっては正常に作動しない場合があります。

＝ 標準装備

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

# Lexus Safety System +

高速道路・自動車専用道路で、ドライバーの意図と調和した運転を支援

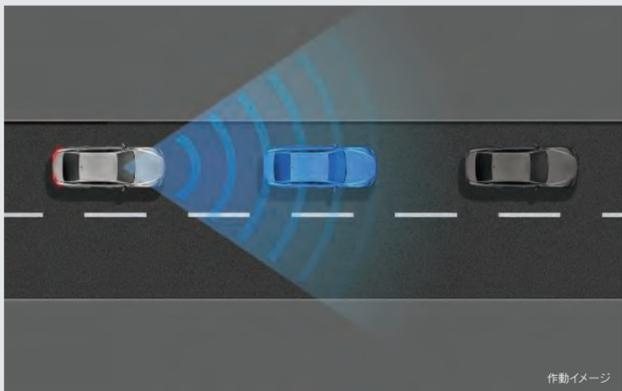


車間距離を保ちながら追従走行する

## レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)

ミリ波レーダーとカメラにより、先行車認識、進路判定、割り込み車検知などに優れた性能を確保し、設定した車間距離を保ちながら追従走行を支援します。先行車が停止した時は自車も停止して停止状態を保持、先行車が発進した時はドライバー操作により発進し、追従走行を再開。高速道路の渋滞走行時など、停止・発進を繰り返すシーンで、ドライバーの運転負荷を大幅に軽減します。レーダークルーズコントロールで走行中、システムが前方のカーブを検知すると、早期に速度抑制を開始するカーブ速度抑制機能を装備しています。また、約80km/h以上でウインカー操作をした際、遅い先行車を追い越すための予備加速を実施。さらに、Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車では、車線変更先にいる遅い先行車に追従するための予備減速を実施。スムーズな追い越しや車線変更が行えるようにしました。また、Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車では、レーダークルーズコントロール作動中に、音声対話サービスを使用して、設定車速と車間設定を変更できます。さらに、制御の開始、車間制御モードと定速制御モードの切り

替えを、シンプルなスイッチ操作で行うことができ、すぐれた使用性も追求しています。



作動イメージ

## 車線の逸脱警告と逸脱抑制を支援する レーンディパーチャーアラート[LDA]

車線逸脱の可能性をドライバーにお知らせします。システムのON/OFFは、Advanced Drive搭載車ではステアリングホイール上に設置されたメインスイッチにて、Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車ではタッチディスプレイにて行うことができます。

### <車線逸脱警報機能/車線逸脱抑制機能>

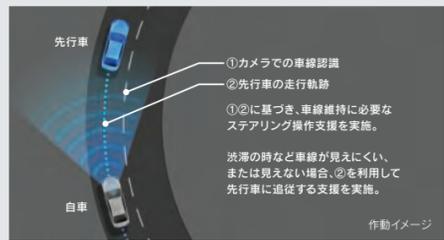
車線から逸脱するおそれがある場合にカラーヘッドアップディスプレイ、メーターへの表示、およびステアリングの振動または警報ブザーにより警告するとともに、車線からの逸脱を避けるためのステアリング操作を支援します。車線だけでなくアスファルトと草・土などの境界や縁石、ガードレールなどの構造物も認識対象としてシステムが作動します。また、Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車では、ブラインドスポットモニター[BSM]と連携して方向指示灯の点滅中であっても、隣の車線を走行中の車両と衝突する可能性があると判断した場合、車線逸脱警報/抑制機能が作動し、音声でお知らせします。さらに、歩行者や駐車車両を避けるための意図的な車線逸脱と判断した場合は車線逸脱警報/抑制機能の作動を抑える機能を採用しました。

## 車線をトレースして運転支援する レーントレーシングアシスト[LTA]

高速道路や自動車専用道路を走行中、レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)の作動時、車線維持に必要なステアリング操作を行います。なお、システムのON/OFFは、ステアリングホイール上に設置されたメインスイッチで行うことができます。

### <車線維持支援機能>

緩やかなカーブで操舵を支援し、滑らかにふらつき少なくレーン中央をキープする走行が可能です。車線が検出困難な場合でも先行車に追従する支援を行います。また、Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車では、シーンに合わせて車線維持のトレース位置を走路中央からオフセットする制御を採用。隣接車線の車両を追い抜いたり、路外の構造物との距離が近い場合などは、一般的なドライバーの運転と同様に、走路中央よりも回避側にトレース位置をオフセットします。



作動イメージ

※レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]は自動で運転する装置でも周囲への注意を軽減する装置でもないため、運転者はつねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ステアリング操作で進路を修正し、安全運転を心がけてください。 ※故意に車線から逸脱して走行するなど、各システムの作動を確認する行為はたいへん危険です。絶対におやめください。 ※安全性の観点から、ドライバーはステアリングを持ち続ける必要があります。手を放すと、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が停止します。 ※例えば次のような条件下では、レーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しないおそれがあります。 ●車線または走路の認識が困難なシーン(悪天候、逆光、濡れた路面、線がかすめている、急カーブ、急勾配、分合流付近など) ●タイヤに変化がある時(応急用タイヤ、タイヤチェーン装着時など) ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンディパーチャーアラート[LDA]、レーントレーシングアシスト[LTA]、レーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●車線を見失った時 ●ドライバーの追加運転操作を検知した時(ステアリング、ブレーキ、アクセルの操作など) など ※レーンディパーチャーアラート[LDA]は約50km/h以上で作動します。Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車では、路外の構造物に対しては約35km/h以上で作動します。ただし、レーントレーシングアシスト[LTA]支援中は約50km/h未満でも車線逸脱警報機能が作動します。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]はAdvanced Drive搭載車では約85km/h～130km/h、Advanced Drive(渋滞時支援)搭載車では約70km/h～130km/hで作動します。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。 ※レーンチェンジアシスト[LCA]はナビゲーションにて自動車専用道路と認識していない場合には作動しません。 ※作動車速以上で走行しドライバーの目で車線が見える場合でも、山間部や市街地などに見られるような状況では、レーンディパーチャーアラート[LDA]が作動しない、または安定して作動しない場合があります。 ●急カーブや急勾配を走行する時 ●車線幅が狭い、または変化している時 など ※レーントレーシングアシスト[LTA]が先行車に追従する支援を行う場合、先行車が車線を右、または左に片寄って走行、または車線変更した時は、先行車の位置に合わせて自車も片寄って走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。先行車がみついた時は、自車もふらついて走行し、レーンをはみ出すおそれがあります。 ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされず、レーンチェンジアシスト[LCA]が作動しません。 ●ステアリング手放し警告をしている場合 ●レーンチェンジアシスト[LCA]が作動できない条件下で、一定時間ウインカーの使用を継続した時 など ※例えば次のような条件下では、レーンチェンジアシスト[LCA]が正常に作動しない場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●周辺車両が大型車(トラック、バス、トレーラーなど)、二輪車などの場合 ●速度差が大きい追い越し、追い越され時 など ※例えば次のような条件下ではシステムの作動条件が満たされずレーンチェンジアシスト[LCA]の作動をキャンセルする場合があります。 ●周辺車両が接近している時 ●ステアリング手放し警告をしている場合 など

## 車線内の停車と救命要請を自動で行う

### ドライバー異常時対応システム

レーントレーシングアシスト[LTA]制御中にドライバーの無操作状態が継続している場合、音と表示と緩減速による警告でドライバーに操作を促すほか、ハザードとホーンで車外に異常を報知しながら自車線内に減速停車し、

自損・加害事故の回避・事故被害低減を支援します。停車後は、ドア解錠やヘルプネット®\*自動接続による救命要請も行い、早期のドライバー救命・救護に寄与します。

“EXECUTIVE” “version L” “F SPORT” “L package”

\*ヘルプネット®はG-Linkに含まれるサービスです。G-Linkのご利用には別途契約が必要となります。詳しくは81-82ページをご覧ください。 ※ドライバー異常時対応システムは自動車専用道路(一部を除く)を約50km/h以上で走行している場合に作動します。体調異常を直接検知できるわけではないため、システムが正常な運転操作と判定した場合は作動しません。

※本ページの機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態および天候状態等によってはご使用になれない場合があります。 ※本ページの機能は高速道路や自動車専用道路での使用を前提として設計しています。また、車線内自動走行を実現したものではありません。 ※本ページの機能を過信せず必ずドライバーご自身で運転操作を行ってください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

標準装備

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

# Lexus Safety System +

## ドライバーに安心感をもたらす、予防安全システムをパッケージ

早期の歩行者検知から操舵回避支援まで実現する

### プリクラッシュセーフティ(歩行者注意喚起・アクティブ操舵回避支援 /ミリ波レーダー＋ステレオカメラ方式)

進路上の車両や歩行者、自転車運転者をミリ波レーダーとステレオカメラで検出し、前方の歩行者と衝突する可能性があると判断した場合、「歩行者注意喚起」が大型カラーヘッドアップディスプレイで歩行者の存在する方向をアニメーションで表示し、直感的な認知に寄与します。車両や歩行者、自転車運転者と衝突する可能性があると判断した場合は警報で知らせ、その後、車両や歩行者、自転車運転者と衝突する可能性が高いと判断した場合は、ドライバーがブレーキを踏むとプリクラッシュブレーキアシストがブレーキ力をアシストし、ドライバーの回避行動をサポートします。また、仮にドライバーがブレーキを踏めなかった場合でも、プリクラッシュブレーキが作動します。同時に、アクティブアシスト(フロントシートベルト)を作動させることで衝突被害の軽減に寄与します。プリクラッシュブレーキは、例えば

#### <交差点右左折支援>

交差点右折時に直進してくる対向車および右左折時に対向方向から横断してくる歩行者をミリ波レーダーとステレオカメラで検出。ブザーと表示で衝突の可能性を知らせ、その後プリクラッシュブレーキを作動。衝突回避または被害軽減をサポートします(自転車運転者は検知しません)。

#### <低速時加速抑制\*>

低速時の自車の直前にいる歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーとステレオカメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。

\*低速時加速抑制はパーキングサポートブレーキ(前後方静止物＋後方接近車両＋後方歩行者) [PKSB]の代替機能となるシステムではありません。

※プリクラッシュブレーキは、対車両の場合は自車速度約5km/h以上、対歩行者と対自転車運転者の場合は自車速度約5km/h～80km/hで作動します。アクティブ操舵回避支援は、対歩行者の場合は、約40km/h～65km/h、対ガードレールの場合は、約60km/h～80km/hで作動します。また、本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者の状態、自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。プリクラッシュセーフティはあくまで運転を支援する機能です。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。数値は社内測定値。

※プリクラッシュセーフティにはアクティブアシスト(フロントシートベルト)が同時装着となります。アクティブアシスト(フロントシートベルト)は、モーターとパネでシートベルトを巻き取る方式を採用し、パネの力を小さくしたことで、シートベルト装着時の圧迫感を軽減します。

さまざまなシーンに衝突回避機能を拡張した

### プリクラッシュセーフティ(歩行者[昼夜]・自転車運転者[昼夜]・自動二輪車[昼]検知機能付衝突回避支援タイプ/ミリ波レーダー＋単眼カメラ方式)

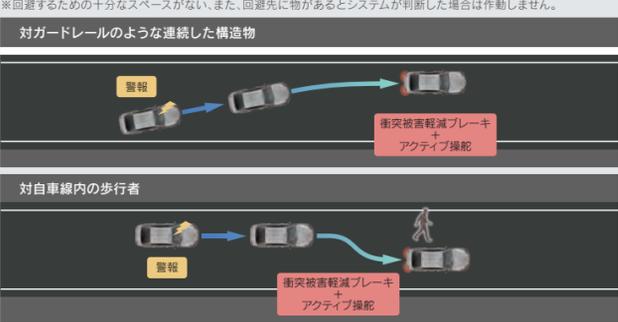
進路上の車両、歩行者、自転車運転者、自動二輪車をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。衝突の可能性が高いとシステムが判断した場合、ブザーとディスプレイで危険をお知らせ。ブレーキを踏めた場合はブレーキ踏力をアシスト、踏めなかった場合は自動的にブレーキを作動させることで、衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に寄与します。なお、対向車に対しては正面から衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

※対向車に関しては、正面衝突、相手車逸脱による対向車との衝突に対応。プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

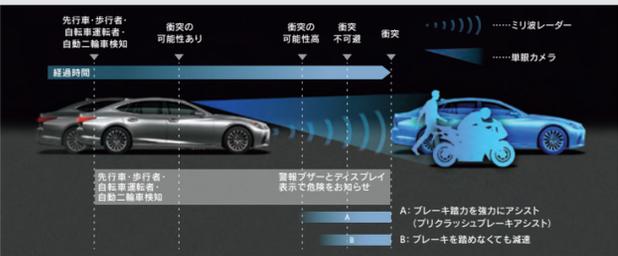
停止車両に対し自車の速度が約60km/hの場合は、衝突回避または衝突被害軽減を支援。また、例えば歩行者との速度差が約60km/hの場合には、衝突回避または衝突被害軽減を支援。また、例えば自転車運転者との速度差が約40km/hの場合には、衝突回避または衝突被害軽減を支援します。さらに、自車線内の歩行者やガードレールのような連続した構造物にブレーキ制御だけでは衝突の可能性が高い、かつ操舵制御によって衝突を回避できるとシステムが判断した場合、警報とブレーキ制御に加え、アクティブ操舵回避支援が作動し、衝突回避または衝突被害軽減を支援します。

#### <アクティブ操舵回避支援>

※アクティブ操舵回避支援は、プリクラッシュブレーキだけでは衝突の可能性が高い、かつ、操舵制御によって衝突を回避できるとシステムが判断した場合に作動します。回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合は作動しません。



作動イメージ



作動イメージ

#### <交差点衝突回避支援(出合頭車両)>

従来のプリクラッシュセーフティの作動範囲に加え、交差点で交差する車両・自動二輪車に対しても、衝突回避の支援を行います。衝突する可能性が高いとシステムが判断したとき、警報およびブレーキを作動させることによって、被害軽減を支援します。

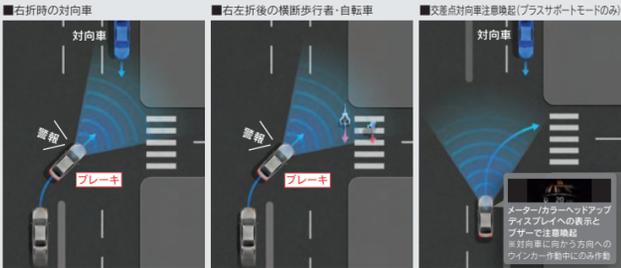
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。 ※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。



作動イメージ

#### <交差点衝突回避支援(右左折)>

交差点右折時に直進してくる対向車(隣接2レーンまで)および右左折時に横断してくる歩行者・自転車運転者をミリ波レーダーと単眼カメラで検出。警報およびブレーキを作動させることで、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、プラスサポートモード中の場合は、右折時の対向車に対してより早いタイミングで表示とブザーで接近を伝えます(交差点対向車注意喚起)。



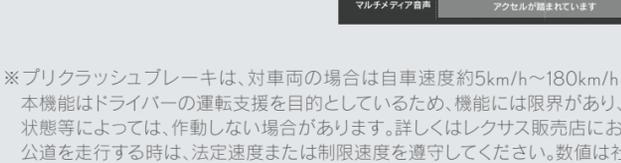
※交差点の形状によっては正しく支援できない場合があります。

※プリクラッシュブレーキアシストは作動しません。

#### <音声発話(プラスサポートモードのみ)>

右記のシーンにおいて、メーター表示と音声発話を行いドライバーへ通知します。

- \* 1. 衝突前に車両が停止した場合のみ作動。
- \* 2. プリクラッシュセーフティの作動状況によって右記の通りにならない場合があります。



### 出合い頭の衝突回避を支援する フロントクロストラフィックアラート [FCTA]

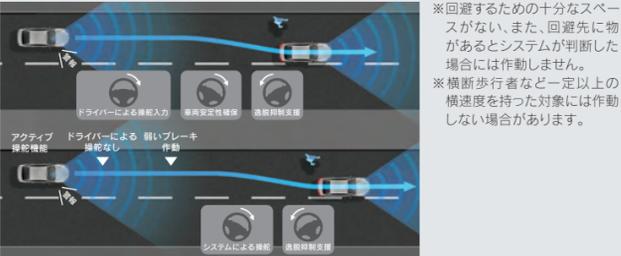
交差点に進入する際など、左右から接近する車両を検知すると、カラーヘッドアップディスプレイで車両が近づいてくる方向をアニメーションで表示し、ドライバーが気づきやすい注意喚起を行います。

車両が接近しているにもかかわらずドライバーが発進しようとした場合は、表示とブザー音で、さらに注意を促します。また、12.3インチタッチワイドディスプレイに表示されるパノラミックビューモニターと連携します。さらに、ITS Connectとも連携し、接近してくる車両に対する注意喚起を行います。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用にならない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。 ※フロントクロストラフィックアラート [FCTA] はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。 ※メーター、カラーヘッドアップディスプレイ画像はAdvanced Drive(渋滞時支援)搭載車。

#### <緊急時操舵支援>

歩行者、自転車運転者、自動二輪車、車両と衝突する可能性が高く、自車線内に回避するための十分なスペースがあるとシステムが判断した場合、ドライバーの回避操舵があったとき、操舵支援を行い、車両安定性確保と車線逸脱抑制に寄与します。また、ドライバーによる操舵がなくてもシステムが弱いブレーキをかけながら操舵を行い、車線内での衝突回避を支援するアクティブ操舵機能を設定しています。



※回避するための十分なスペースがない、また、回避先に物があるとシステムが判断した場合には作動しません。 ※横断歩行者など一定以上の横速度を持った対象には作動しない場合があります。

#### <低速時加速抑制\*>

低速時の自車の直前にある壁、歩行者、自転車運転者、車両をミリ波レーダーと単眼カメラで認識。前方に対象物がある状態で、停車または徐行状態からアクセルペダルが必要以上に強く踏み込まれた場合には、エンジン出力を抑制または弱いブレーキをかけることで加速を抑制し、衝突回避または被害軽減をサポートします。また、衝突が回避され、かつ車両が停止した場合、ドライバーがアクセルまたはブレーキ操作をするまでブレーキ力を保持します。 ※パーキングサポートブレーキ(前後方静止物) [PKSB]の代替機能となるシステムではありません。



作動イメージ



プリクラッシュセーフティ作動イメージ

※プリクラッシュブレーキは、対車両の場合は自車速度約5km/h～180km/h、対歩行者、自転車運転者の場合は自車速度約5km/h～80km/hで作動します。また、本機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者や自転車運転者の状態等によっては、作動しない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。公道を走行する時は、法定速度または制限速度を遵守してください。数値は社内測定値。



作動イメージ

標準装備

※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

# Lexus Safety System +

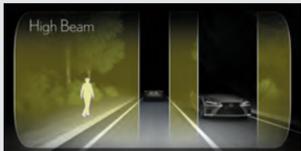
## ドライバーに安心感をもたらす、予防安全システムをパッケージ

遠方にいる歩行者をいち早く照らす

### ブレードスキャン®アダプティブハイビームシステム[AHS]

夜間の視認性を飛躍的に高めるブレードスキャン®AHS。高速回転するブレードミラーにLEDの光を反射させ、その残像効果によって滑らかに前方を照らします。また、ブレードミラーの回転に合わせてLEDの点灯・消灯を制御することで、照射エリアと遮光エリアをきめ細かく調整。遠方の歩行者や路肩、標識などをより早く認知できる配光を実現します。さらに、先行車や対向車に直接ハイビームを当てないように部分的に遮光するなど、夜間走行時のストレスを軽減し、安全運転に寄与します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



作動イメージ

リスクを先読みして運転操作を支援

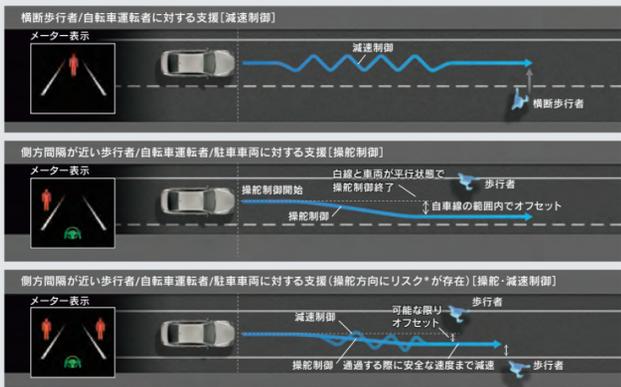
### プロアクティブドライビングアシスト[PDA]

「歩行者の横断」「飛び出してくるかもしれない」など、運転の状況に応じたリスクの先読みを行うことで、危険に近づきすぎないように運転操作をサポートし、ドライバーの安心につなげます。さらに先行車や前方のカーブに対して減速操作をサポートし、頻繁な踏みかえ操作を軽減することにより、一般道などのシーンでドライバーの運転に寄り添いやすくサポートする機能です。以下5つを備え、運転状況に応じて適切な操作をサポートします。

#### 1. 歩行者/自転車運転者/駐車車両に対する操舵・減速支援

リスクを先読みし、危険に近づきすぎないようにステアリング・ブレーキ操作をサポートします。

※本支援は自車速が約30km/h～約60km/hのときに作動します。



\*歩行者/自転車運転者/周辺車両

#### 2. 先行車に対する減速支援

先行車や隣接車の割り込みを検出した時、ドライバーのアクセルOFFに応じて、車間距離が近づきすぎないように緩やかに減速します。

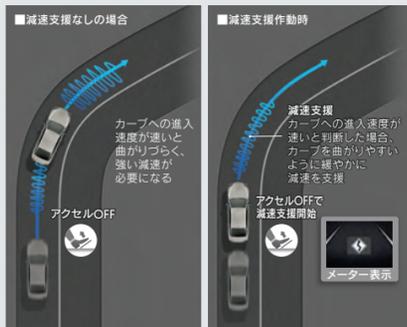
※約15km/hまで減速すると、システムによるブレーキアシストは停止します。



作動イメージ

#### 3. カーブに対する減速支援

前方のカーブに対して自車の速度が速いと判定した場合、ドライバーのアクセルOFFに応じて緩やかに減速します。



作動イメージ

作動イメージ

#### 4. 信号交差点に対する右左折時減速支援

信号交差点への接近を検出した時、ドライバーのアクセルOFFとウインカー操作に応じて、緩やかに減速します。

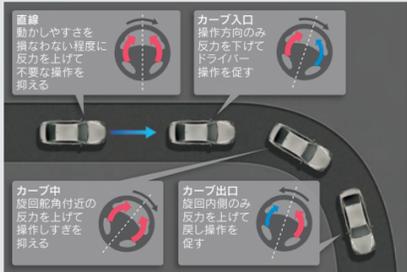
※本支援は自車速が約30km/h～約80km/hのときに作動します。



作動イメージ

#### 5. 車線内走行時常時操舵支援

ドライバーの操作を先読みして、ステアリング反力を変化させることで、不要な操作を抑えたり、操作遅れを防止し、スムーズな走行をサポートします。また、反力変化のみでステアリングを自動で回すことはありません。



作動イメージ

道路標識を表示し告知も行う

### ロードサインアシスト[RSA]

カメラで認識した「最高速度」「はみ出し通行禁止」「一時停止」「転回禁止\*」の道路標識を、メーターに表示。また、「最高速度」「車両進入禁止」「赤信号\*」の道路標識や信号に従っていない\*とシステムが判断した場合、表示の反転や点滅、ブザーなどでドライバーに告知します。それらにより、道路標識などの見落としを減らし、安全運転を促します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。  
\*Advanced Drive (渋滞時支援) 搭載車のみになります。



※メーター画像はAdvanced Drive (渋滞時支援) 搭載車。

作動イメージ

信号機や先行車を検知して自車の発進遅れを知らせる

### 発進遅れ告知機能[TMN]

信号の表示や先行車の動きをミリ波レーダーと単眼カメラで検出。交差点先頭で停止時に信号の停止表示が解除されても自車が停止し続けている場合、または、先行車が発進し一定距離を走行してもなお自車が停止し続けている場合に、メーター表示、およびブザーなどでお知らせします。



※右折矢印信号も検知可能です。 ※シフトポジションが「P」「R」以外でブレーキペダルを踏んで停車している時に作動します。シフトポジションが「N」の時、またはレーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)機能で自車が停止した場合、さらにシフトポジションが「D」の時にブレーキホールドを使用した場合は、ブレーキペダルを踏んでいなくても作動します。 ※先行車が約4m以上進んでも自車が止まったままだとシステムが判断した場合に作動します。なお、機能のON/OFFおよび通知タイミングの変更が可能です。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

ドライバーの状態を検知して注意喚起を行う

### ドライバーモニター連携

ドライバーの不適切な運転状態(脇見、漫然、居眠り)が要因の事故を低減するために、ドライバーの状態を確認し、不適切な状態であると推定された場合、素早く注意喚起を行います。顔向き検知、閉眼検知に加え、視線を検知することにより、顔向きだけでは検知できない脇見シーン(例えば、正面を向いて視線を落として携帯を見るようなシーン)も検知することができます。



#### <ドライバーモニター連携が加わった機能>

・プリクラッシュセーフティ ・レーダークルーズコントロール(全車速追従機能付)

・レーンディパーチャーアラート[LDA] ・ドライバー異常時対応システム



ドライバーモニターカメラ

#### <脇見等を検知した場合>

システムが脇見や閉眼状態であると判断した場合、メーター表示やブザー音で注意喚起。



メーターディスプレイの警告表示



脇見

閉眼

### 留意事項：ドライバーモニターが正常に作動しないおそれがある状況

次のような状況のとき、ドライバーモニターカメラは運転者の顔を検知できず、機能が正常に作動しないおそれがあります。

- 炎天下での駐車後など、車内が高温のとき
- 強い光(太陽光や後続車のヘッドランプ光など)がドライバーモニターカメラにあたっているとき
- 周囲の構造物の影響などで、車内の明るさがひんばんに変化しているとき
- 強い光(太陽光や対向車のヘッドランプ光など)が運転者の顔にあたっているとき
- 眼鏡・サングラスのレンズに光が映り込んでいるとき
- 眼鏡・サングラスのフレームや髪などで眼が隠れているとき
- 前に身乗り出したり、窓から顔を出したりするなど、顔がドライバーモニターカメラの検知範囲から外れているとき
- ステアリングやステアリングを握る手・腕などでドライバーモニターカメラが隠れたとき
- 帽子を深く被っているとき
- 眼帯を着用しているとき
- 眼鏡をかけているとき
- 赤外線を通しにくいサングラスをかけているとき
- コンタクトレンズをつけているとき
- マスクを着用しているとき
- 笑ったり、眼を細めたりしているとき
- 眼・鼻・口や、顔の輪郭が隠れているとき
- 眼・鼻・口・顔の輪郭が判定できなくなるような化粧をしているとき
- 眼鏡・サングラスのフレームや髪などで眼が隠れているとき

#### ⚠️ 安全にお使いいただくために

- ドライバーモニターは運転者の不注意行動や姿勢崩れを未然に防ぐものではありません。つねに周囲の状況を把握し、安全運転に努めてください。
- ドライバーモニターは運転者の眠気を解消するものではありません。集中力の低下や眠気を感じたら、適度に休憩や仮眠を取り、安全運転に努めてください。

#### ⚠️ Lexus Safety System + を安全にお使いいただく上での留意事項説明

Lexus Safety System + は予防安全パッケージです。ご契約に際し、Lexus Safety System +、およびその各システムを安全にお使いいただくための留意事項についてご説明いたします。

- 運転者には安全運転の義務があります。運転者は各システムを過信せず、つねに自らの責任で周囲の状況を把握し、ご自身の操作で安全を確保してください。
- 各システムに頼ったり、安全を委ねる運転をすると思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- 車両姿勢が変化する架装・改造や、各システムのカメラ・センサーを遮るような架装・改造を行うと、各システムが正常に作動せず、思わぬ事故につながり、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
- ご使用前には、あらかじめ取扱説明書で各システムの特徴・操作方法を必ずご確認ください。

ご使用になる際のお客さまへのお願い



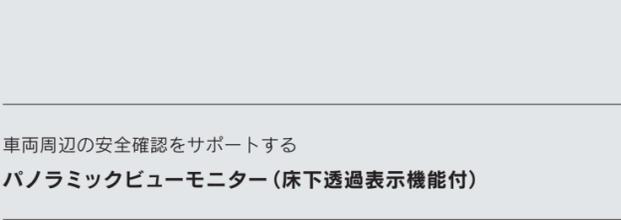
機能説明  
情報はこちら

標準装備

※装備類の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

# OTHER SAFETY

## ドライバーを細やかにサポートする、充実の安全テクノロジー

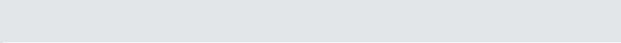
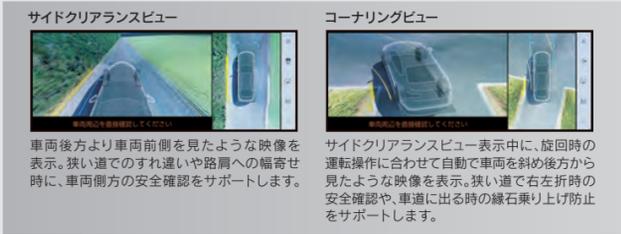


車両周辺の安全確認をサポートする

### パノラミックビューモニター（床下透過表示機能付）

運転席から目視しにくい車両周囲の状況をリアルタイムで確認できます。ボディやシートを透かして見たようなスルスルービューや、サイドクリアランスビュー、コーナリングビューも採用。さらに、床下透過表示機能\*の設定により、車両直下およびタイヤ付近のアンダーフロア映像を表示して、駐車やすり抜けを支援します。

\*あらかじめ12.3インチディスプレイオーディオ（コネクティッドナビ対応）Plusにて床下透過表示機能を設定（ON）することで、車体の動きに連動し、床下透過画像が表示されます。
※画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。映像を過信せず、必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転してください。なお、字光式ナンバープレートは装着できません。
※パーキングサポートブレーキ〔PKSB〕協調表示、フロントクロスストラフィックアラート〔FCTA〕& ITS Connect協調表示、プリクラッシュセーフティ協調表示を行い、画面表示で注意喚起します。



映像で後方の安全確認をサポートする

### デジタルインナーミラー

車両後方カメラの映像をワイドミラーのディスプレイに表示することで、後席の乗員やヘッドレストに遮られることなく、電動サンシェード(リヤウインドウ)使用時にも後方の安全確認が可能。後席乗員のプライバシー配慮にも寄与します。高画質の映像により、鏡面ミラーモードからデジタルインナーミラーモードに切り替えた際の自然な色調、夜間のクリアな視認性を実現しています。カメラに汚れなどが付着した際は、室内からのスイッチ操作でウォッシュャー液が噴射し、汚れを洗浄できます。

※初めての走行前や運転者が代わる場合には、必ずミラーの調整を安全な場所に停車して行い、走行中には絶対に行わないでください。調整を行わずに走行すると、映像が二重映りする場合があります。また、ムーンルーフからの外部光による反射でディスプレイが見えにくい場合にはシェードを閉めてください。体調・年齢などにより、画面に焦点が合うまで時間がかかる場合があります。また、着雪や雨滴、汚れ等により映像が見えづらくなる場合があります。その場合には鏡面ミラーモードに切り替えてご使用ください。夜間など暗い場所では周辺を明るく見せるために映像が自動的に調整されることにより、特有のちらつきが発生する場合があります。



画面がウインドシールドガラスに現れる

### カラーヘッドアップディスプレイ

ウインドシールドガラスの視野内に、運転に必要な情報を投影します。Advanced Drive搭載車のカラーヘッドアップディスプレイは幅600mm×高さ150mmの大型サイズ。大画面に、アニメーションなどで注意喚起することで、ドライバーが直感で警告を理解し、いち早く危険回避の動作に移行することに寄与します。なお、Advanced Drive（渋滞時支援）搭載車のカラーヘッドアップディスプレイは幅260mm×高さ97.5mmのサイズで、3種類の表示をドライバーの好みに応じて切り替えることができます。

大型カラーヘッドアップディスプレイ

“EXECUTIVE” “version L” “Advanced Drive”

カラーヘッドアップディスプレイ

“EXECUTIVE” “version L” “FSPORT” “package”

※サングラス（特に偏光サングラス）をかけた際に、カラーヘッドアップディスプレイが見えづらくなる場合があります。

大型カラーヘッドアップディスプレイ



※画像（左上・右上・右中）は

レーントレーシングアシスト〔LTA〕表示。

カラーヘッドアップディスプレイ

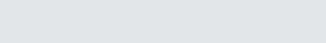
フル表示
システムの作動状態を大きく表示



スタンダード表示
コンテンツを下方に集約



ミニмум表示
必要最低限の情報を表示



インナーミラーの後方視界を広く確保する

### 後席自動リクライニング機能

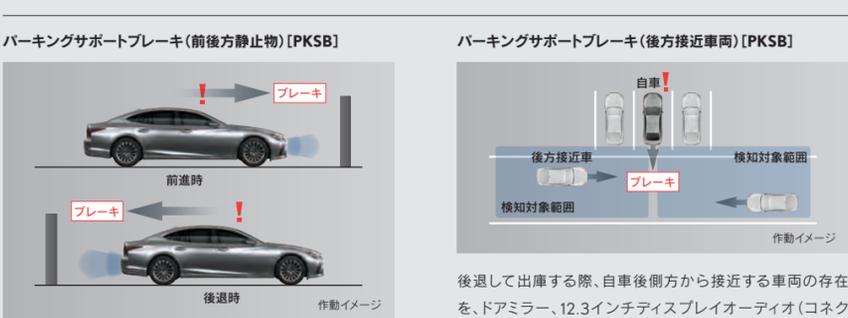
後席に乗員がいない場合、ドライバーのシフト操作に連動してリヤシートが自動的にリクライニングするシステム。ヘッドレストが上がっていた場合はヘッドレストも自動で下降します。これにより、インナーミラー越しの後方視界をより広く確保します。

“EXECUTIVE” “EXECUTIVE Advanced Drive” “version L” “version L Advanced Drive”



接触事故の低減に寄与する駐車支援システム

### パーキングサポートブレーキ〔PKSB〕

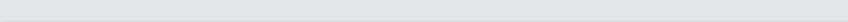


### パーキングサポートブレーキ（周囲静止物）〔PKSB〕



アクセルの踏み間違いや踏みすぎなどで起こる衝突を緩和し、被害の軽減に寄与するシステムです。Lexus Teammate Advanced Park装着車では、静止物の検知対象を前後方のみならず、側方を加えた車両周囲にまで拡大。Advanced Parkのアシスト中だけでなく、出庫や後退のような駐車シーンにおいても周囲を監視しながら静止物の接近を表示とブザーで知らせ、さらに距離が縮まると衝突被害軽減ブレーキをかけます。

※本機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候状態およびドライバーの操作状態、歩行者の状態等によっては、作動しない場合があります。本機能を過信せず、必ずドライバーが責任を持って運転してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※パーキングサポートブレーキ〔PKSB〕が作動した場合でもブレーキ制御は2秒で解除されるため、そのまま前進・後退できます。また、ブレーキペダルを踏んでもブレーキ制御は解除されるため、再度アクセルペダルを踏むことで前進・後退できます。
※歩行者以外の立体物に対しても作動することがあります。ブレーキ作動後はブレーキを踏んで周囲の確認をお願いします。
※字光式ナンバープレートは装着できません。

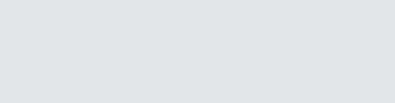


車両後側方の安全性に寄与する

### ブラインドスポットモニター〔BSM〕

ブラインドスポットモニター〔BSM〕は、走行中、ドアミラーでは確認しにくい後側方エリアに存在する車両に加えて、隣接する車線の最大約70m\*後方までモニターし、急接近してくる車両も検知します。車両を検知するとドアミラー内のインジケーターが点灯、車両を検知した状態でウインカーを操作するとインジケーターが点滅するとともに、Advanced Drive（渋滞時支援）搭載車ではブザーが吹鳴し、より注意を喚起します。

\* “EXECUTIVE Advanced Drive”、 “version L Advanced Drive” は約60mになります。
※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。
※ブラインドスポットモニター〔BSM〕はあくまで運転補助機能です。本機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



歩行者の頭部への衝撃を緩和する

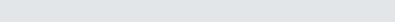
### 4点式ポップアップフード

万一の歩行者との衝突時、瞬時にフードを持ち上げて衝撃吸収スペースを確保。歩行者の頭部への衝撃を緩和します。

予防連携機能

プリクラッシュセーフティが歩行者や自転車運転者と衝突する可能性が高いと判断した場合、ポップアップフード作動の準備を行います。

※衝突の条件によっては作動しない場合があります。ポップアップフードが作動した場合には、バンパーやフロントフード等の損傷有無にかかわらず、ポップアップアクチュエーター等の交換・修理が必要となります。なお、字光式ナンバープレートおよびフロントナンバーフレームは装着できません（ただし、純正用品のフロントナンバーフレームは装着できます）。詳しくはレクサス販売店におたずねください。



万一のときの安全性に寄与する

### SRSエアバッグシステム

最大12個のSRSエアバッグを装備しています。

予防連携機能

運転席・助手席SRSサイドエアバッグ、後席SRSサイドエアバッグ、前後席SRSカーテンシールドエアバッグは、プリクラッシュセーフティによって側面衝突の可能性が高いと判断した場合、作動する準備を整えます。

※後席の保護効果をより高める後左右席SRSシートクッションエアバッグは、“EXECUTIVE”/“EXECUTIVE Advanced Drive”と“version L”/“version L Advanced Drive”のみに標準装備となります。
※SRSエアバッグシステムは衝突時の条件によっては作動しない場合があります。SRSエアバッグはあくまでシートベルトを補助する装置ですので必ずシートベルトをご着用ください。



■ = 標準装備  
※装備類の詳細い設定につきましては、主要装備一覧表でご確認ください。

# OTHER SAFETY

## 安心感につながる先進安全テクノロジー

降車時の危険を知らせる

### 安心降車アシスト[SEA]

降車時、ブラインドスポットモニター[BSM]のセンサーを活用し、後方からの自転車を含む接近車両などを検知。開放後のドア、もしくは降車した乗員と衝突する可能性があるとしてシステムが判断した場合、ドアミラー内のインジケーターを点灯させ注意を促します。また、ドアを開けようとした場合、ドアミラー内のインジケーター点滅、ブザー、音声通知、メーター表示で乗員へ告知します。



後方車両の接近を知らせる

### 後方車両接近告知

ブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーで自転車後方の車両を検知し、後方車両が接近した場合には、メーターやカラーヘッドアップディスプレイ、ブザーにてお知らせ。インナーミラーへ視線誘導し、後方車両の回避要否の判断をアシストします。

追突の可能性を後続車に知らせる

### 後方車両への接近警報

追突の可能性が高い後続車に対し、ハザードランプを高速点滅させて注意喚起します。自車両と同一レーンを走行する後続車をブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーにより検知し、後続車との距離、相対速度、方向等から追突の可能性を判断します。追突される可能性が高い場合にハザードランプを約2秒間高速点滅させ、後続車に注意喚起します。

※道路状況、車両状態および天候状態等によっては、ご使用になれない場合があります。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

※64ページの機能はあくまで運転補助機能です。これらの機能を過信せず、運転に際してはドライバーご自身で周囲の安全状況を直接確認してください。詳しくはレクサス販売店におたずねください。

後方車両が至近距離まで接近した際の対処方法を提案する

### 周辺車両接近時サポート(録画機能・通報提案機能)

後方車両が非常に接近した場合、システムからドライバーに警察もしくはヘルプネット®への接続を提案。対処方法をお伝えします。また、ドライブレコーダー(前後方)装着時には、常時記録に加えて「イベント記録とお知らせ」を実施。状況を自動録画し、専用記録領域へ保存されるので上書きされにくくなります。



被追突時の二次被害低減を支援する

### セカンダリーコリジョンブレーキ(停車中後突対応)

自車が停車中、ブラインドスポットモニター[BSM]の後側方ミリ波レーダーで後方車両を検知し、追突される可能性が非常に高いとシステムが判断すると、自車のブレーキを作動させます。その後追突された場合に自車の速度を減速し、二次衝突被害の回避・軽減に貢献します。自車走行中に前突・側突された後にブレーキを作動させる従来のセカンダリーコリジョンブレーキに対して、停車中後突対応は後側方ミリ波レーダーを使用することで新たに後突に対応するとともに、衝突前からブレーキを作動。より早期での減速が可能です。

■EXECUTIVE ■version L ■F SPORT ■1 package

LSは「セーフティ・サポートカーS<ワイド>」です。

セーフティ・サポートカーS<ワイド>(サポカーS<ワイド>)は、政府が交通事故防止対策の一環として普及啓発しているものです。衝突被害軽減ブレーキ[対歩行者・対車両]、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトなどの安全運転を支援する装置を搭載し、高齢者を含むすべてのドライバーの安全をサポートします。

■ Lexus Safety System + / パーキングサポートブレーキ(PKSB)

ITS専用周波数で通信し、安全運転をサポート

### ITS Connect

クルマのセンサーでは捉えきれない見通し外の情報や信号等の情報を、クルマとクルマ、あるいは道路\*1とクルマが直接通信し、カラーヘッドアップディスプレイやマルチインフォメーションディスプレイでの表示、ブザー音でドライバーに知らせ、安全運転を支援するシステムです。

\*1 路車間通信システムに対応した路側装置は、2024年11月現在、宮城県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、広島県、福岡県に設置されています。

\*2 Lexus Teammate Advanced Drive搭載車には音声案内がありません。※本システムは「路側装置が設置された交差点」または「本システムが搭載された周辺車両」との間でのみ作動します。また、路側装置が設置された交差点であっても、交差点に進入する方向によっては、作動するシステムが異なる場合があります。本システムはあくまで補助機能です。システムを通信せず、つねに道路状況に注意し、安全運転を心がけてください。※緊急車両存在通知は通信機を搭載していない車両の存在は案内されません。ドライバー自身が周囲の安全を確認してください。

※通信利用型レーダークルーズコントロールは、先行車や周囲の車両の走行状態によっては、スムーズな追従走行が行われない場合や、自車の速度や先行車との車間距離に影響がおよぶ場合があります。※右折時注意喚起は、路側装置が設置された交差点であっても、路側装置の種類や、交差点に進入する方向によっては、対向車のみを検知し、歩行者がいることを注意喚起しない場合があります。なお、対向車や歩行者が路側装置(感知器)の検出範囲外に存在している場合や、路側装置(感知器)が車両の特徴や環境条件・経年変化等によって未検知や誤検知を起こす場合は、注意喚起しないことや、通知内容が実際の道路状況と異なる場合があります。ご利用可能なサービス提供場所については、レクサス販売店におたずねください。※右記の機能は一例です。

### [DEALER OPTION] プラスサポート(急アクセル時加速抑制)

全車

専用キーでのドア解錠でプラスサポートが自動で始動します。

<急アクセル時加速抑制>

障害物の有無にかかわらず、アクセルの踏み過ぎや踏み間違いを検知するとクルマの加速を抑制し、「アクセルが踏まれています」との音声発話と警報ブザー、ディスプレイ表示でドライバーに注意喚起する機能です。

<Lexus Safety System +の機能拡大>

プラスサポートモードがONの場合、Lexus Safety System +各機能の挙動(警報タイミングや音声発話の有無)を、より安全な運転につながる方へ拡大します。

・プリクラッシュセーフティの交差点対向車注意喚起の作動  
・ロードサインアシスト[RSA]で音声発話による注意喚起を実施 など



無線通信により更新が可能

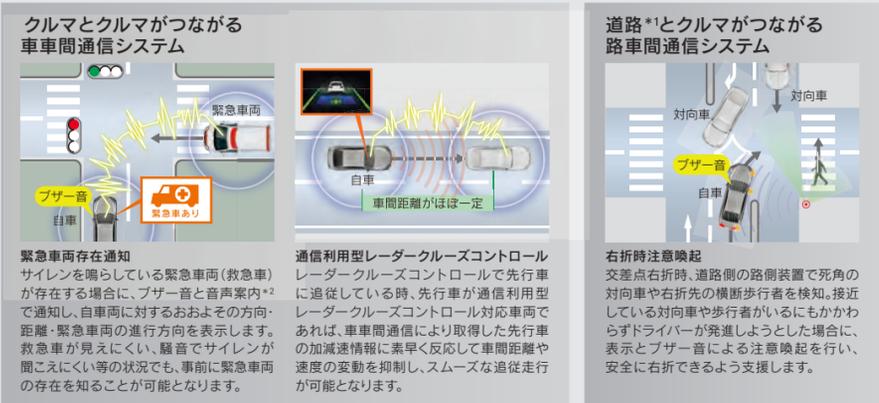
### ソフトウェアアップデート

G-Linkを使って、レクサス販売店へ入庫することなく性能向上のためのソフトウェア更新が可能なOTA(無線通信)によるソフトウェアアップデート機能を設定しました。OTAによるソフトウェア更新中も、通常通りの車両走行、Lexus Safety System+機能が使用可能。ソフトウェアの更新は、エンジンスイッチ/パワースイッチON時のみ実施されます。

■EXECUTIVE ■version L ■F SPORT ■1 package

※安全装置の各機能の作動には、速度や対象物等の条件があります。また、各機能はドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、道路状況、車両状態、天候等により作動しない場合があります。詳しくは、取扱説明書、またはlexus.jpをご覧くださいか、レクサス販売店におたずねください。

※安全装置はドライバーの安全運転を支援するためのものです。機能を過信せず、安全運転を心がけてください。



プラスサポート用スマートキー(電子キー)(カードキー)

標準キーと区別しやすい、サテンゴールド加飾の専用キーです。



マルチインフォメーションディスプレイ表示

※写真はAdvanced Drive搭載車用。

※本製品にメカニカルキーは付属していません。標準スマートキーに付属のメカニカルキーを本製品に差し替えてご使用ください。 ※メカニカルキーが無い状態では、電子キーの電池が切れた時にドアロックを解除できなくなります。メカニカルキーは追加で購入していただくことも可能です。レクサス販売店におたずねください。 ※ブレーキを制御するシステムではありません。 ※自車車速約30km/h以下で作動します。 ※前進および後退時に作動します。 ※アクセルを強く踏み込むような運転をした場合に、意図せずシステムが作動することがあります。 ※プラスサポートで運転中でも、右左折時や車線変更時、一時停止位置や信号待ちからの発進時、急な取返しの発進や加速時には、通常どおり加速できます。ただし、方向指示レーン操作せず右左折や車線変更をした時、ブレーキを踏まない状態(ブレーキホールドでの停車中含む)から発進するとシステムが作動することがあります。その場合は、一度アクセルを離し、ゆっくり踏みなおせば加速が可能です。 ※プラスサポート用スマートキー(電子キー・カードキー)と標準スマートキーは同時に携帯せず、目的に合った1種類のキーのみ携帯してください。プラスサポートが作動しない可能性があります。メーター表示で始動中をご確認ください。



標準装備 = ティーラーオプション

※装備品の詳しい設定につきましては、主要装備一覧表をご確認ください。